

平成22年度「均等・両立推進企業表彰」

三協立山アルミ株式会社 が

ファミリー・フレンドリー企業部門 富山労働局長優良賞に決定しました！

1 平成22年度 均等・両立推進企業表彰

厚生労働省では、「女性労働者の能力発揮を促進するための積極的な取組」(ポジティブ・アクション)及び「仕事と育児・介護との両立支援のための取組」について、他の模範ともいふべき取組を推進している企業に対し、その取組を讃えるとともに、これを広く周知することにより、男女ともにそれぞれの職業生活の全期間を通じて持てる能力を発揮できる職場環境の整備を促進するため、「均等・両立推進企業表彰」を行っています。

富山労働局(局長 堀江雅和)では、本年度の県内の表彰企業を以下のとおり決定しました。

ファミリー・フレンドリー企業部門

富山労働局長優良賞 [三協立山アルミ株式会社](#)

(高岡市早川、代表者：代表取締役社長 藤木正和)

2 表彰の理由

富山県は、女性の労働力率が全国5位(52.6%)で**出産・育児期を通じ働く女性が多く**、また**共働き率も全国3位(56.8%)と高い状況**にある一方で、出産を機に離職した女性の約半数がその理由を「**仕事を続けたかったが、仕事と家庭の両立が困難でやめた**」としており、また**男性の育児休業取得率は1.0%と低く、全国平均を下回っています**。

そのような中で、三協立山アルミ株式会社は、**法を上回る育児・介護休業制度や短時間勤務制度、在宅勤務制度、勤務時間選択制度**など、仕事と育児・介護が両立できる制度を導入し、**多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できる取組**を推進しており、このことが他の模範となるものといえます。

[表彰企業 三協立山アルミ株式会社の 主な取組内容はこちらを](#)



平成22年10月4日(月)に行われた富山労働局長賞表彰式の様子

平成22年度「均等・両立推進企業表彰」

ファミリー・フレンドリー企業部門 富山労働局長優良賞

三協立山アルミ株式会社

所在地：高岡市早川70

業種：アルミ建材製造販売

代表者：代表取締役社長 藤木正和

労働者数：5,894名

～社員全員が働きやすい環境をつくることにより、
すべての社員がその能力を十分発揮できる企業、「選ばれる」企業を目指す～

【取組の背景】

少子化による労働力人口の減少が懸念される中、また、従業員に占める30歳以下の割合が少ないという会社の現状から、**人材確保を緊急かつ重要な経営課題**として位置付け、仕事と子育てを両立できる環境を整えることで、**既存の人材の活躍**を図り、若い世代から**「選ばれる」企業**になることを目指すとともに、**ワーク・ライフ・バランスの推進**については、**生産性の向上**を期待するとともに、**企業としての社会的責任(CSR)**の認識に立ち、2007年に女性活躍推進グループ(現在の多様性推進グループ)を立ち上げ、両立支援に係る制度改定や、意識改革に向けた取組を推進している。

【取組内容】

社内アンケートの結果や労働組合との協議内容などを両立支援制度の拡充に反映させている。

育児休業、介護休業、育児・介護のための短時間勤務制度等は**法を上回る制度**とし、**職場復帰プログラム**などにより、**制度利用が定着**している。(男性の育児休業取得実績もあり)

家庭の事情で一旦退職した者に対する**再雇用制度**や、仕事と家庭の両立等のための**在宅勤務制度**があり、それぞれ利用実績がある。

所定労働時間を変えず多様な家庭状況等に応じることができる**勤務時間選択制度**を設けた結果、**男女問わず多数の労働者が利用**し、**時間外労働の削減**にもつながっている。

本社・工場及び全国の支店で行った管理職研修において、**会長自らが、仕事と生活の両立の重要性についてビデオメッセージを発信**するなど、育児参加を応援する会社方針を明らかにすることで、**会社全体の意識改革**が進んでいる。

2009年には**次世代育成支援推進法に基づく認定**を受け、その後もさらなる目標を掲げた一般事業主行動計画を策定し、社内外へ周知・公表したうえで、それぞれの対策について実施時期を定めて取り組んでいる。